

子どもと共に

卒業式

校長式辞より

(前略)

1年間
ありがとうございました

第七十六期卒業生の皆さん、卒業おめでとう。卒業証書を受け取る君たちの顔には、中島小学校で六年間、そして中島中学校での三年間の学びを得て、立派に成長した自信と誇りが感じられました。思い返せば君たちは令和二年四月、まさにコロナ禍の始まりの中、中島中学校に入学してきました。入学の前後は、国からの要請による全国一斉休校の真っただ中で、小学校の卒業式も中学校の入学式

発行人
中島中学校
校長 神野泰二
松山市長師 817
997-0204

も、内容を大きく短縮した形で行われたことと思います。それから三年間、マスク、マスク、手洗い、手洗い、しゃべらない、近づかないの毎日、本当に大変だったと思います。仙台育英高校野球部の監督さんも「青春は本来密なものなのに・・・」と言っていました。まさにその通りで、多くの我慢も強いられましたでしょう。しかし、三年間の経験と人間の英知によって、ようやく今の日本もコロナ禍を脱しつつあり、今日の卒業式を全員でマスクをとってお互いの顔をしっかりと見ながら挙行

できるといいうのは、なさら感慨深いものがあります。そんなコロナ禍ともにあつた皆さんの中学三年間ですが、それでも君たちは様々な制限の中、大きく躍動しました。少年の日に披露した豪快な書道パフォーマンス、四年ぶりの関西の修学旅行では笑顔を、声をか

タグラムによる情報発信、自分たちで企画・準備して行った島のにぎわい創出イベントなど、君たちの「やってみよう！」という発想力とそれをちやんと成し遂げる実行力には頭が下がりました。しかし、私よりもっと頭が下がるのは、毎日の朝学習や授業に一切手を抜くことなく真剣に取り組んでいたこと、

し、二度にわたって計四年間校長を務められた金本房夫先生が、皆さんの姿を見て、「やっぱり中中の生徒は日本一じゃ」と涙を流されていた姿が、強く印象に残っています。中中のよき伝統をしっかりと引き継いで残してくれた君たちに、あらためてありがとうの言葉を伝えたいと思います。

が、その選択や決断がすべて成功するとは限りません。言うてみれば、人生は失敗の連続でもあつて大切なことは「失敗しないこと」「じゃないか」「失敗を生かす力」「失敗から立ち直る力」「じゃないか」と思うのです。このレジリエンスを身に付けるために、心にとめておいてほしい四つを伝えます。

中中ソラン、体験入寮で訪れた小学生や保護者を驚かせた見事なプレゼンテーション、文化祭で全員で作上げた演劇すべての行事で先輩に範を示し続けた君たちでした。

また、松山市の小中学校でおそらく初めてであろうインスタグラムによる情報発信、自分たちで企画・準備して行った島のにぎわい創出イベントなど、君たちの「やってみよう！」という発想力とそれをちやんと成し遂げる実行力には頭が下がりました。しかし、私よりもっと頭が下がるのは、毎日の朝学習や授業に一切手を抜くことなく真剣に取り組んでいたこと、

さて、三年間のコロナ禍の中学生生活を乗り越えた皆さんに、私から最後にこの言葉を贈りたいと思います。それは「レジリエンス」という言葉です。レジリエンスとは、回復力とか立ち直る力という意味です。前に、人生は選択と決断の連続であると話しました

一つ 成果が表れなかったときは、「自分に才能がなかったからではなく、努力が足りなかったから」と反省し、努力を続けること。決して、「どうせ自分には・・・」と簡単にあきらめないでください。二つ 失敗したことを悩んだり悔やん

旅立ちの情景

卒業

だりしても、結果は変わりません。やらなければならぬことは、次に備えて改善策を探すこと。いち早く気持ちを切り替えて、前に進むことです。

三つ 失敗して誰かに叱られたときは、叱ってくれる人の思いをくみ取ること。叱ってくれるのは、あなたの成長を期待しているのです。あなたのことです。あなたのことです。あなたのことです。

四つ 物事がうまくいかないとき、他人のせいにならずに、自分自身にしっかり矢印を向けて考えること。他人に矢印を向けてもネガティブな感情が生まれるだけです。世界でたっ

た一人の自分を育てる真の責任者は、あなた自身です。

これら四つの心構えのもと、しっかりとレジュリエンスを持っていけば、たとえ失敗と思われようとも長い目で見れば大成功につながる、なんてことも結構あるものです。

これまで何度も伝えてきましたが、「幸せかどうかは、自分自身の心が決めるもの」。これからの皆さんの人生が幸多きものであることを願っています。(後略)



三年間の中学校生活を終え、私たち九名は今日、この学び舎を旅立ちます。振り返ってみれば、たくさんの思い出がよみがえってきます。

着慣れないぶかぶかの制服を着て参加した入学式。期待よりも不安や心配でいっぱいでした。中学生になって初めての小中合同運動会。小学生を引張るのは難しく、ソーラン節を覚えるのも大変で、付いていくのに必死でした。三年生の先輩の姿がまぶしく、「いつか先輩たちのようになりたい！と強く感じたことを覚えています。先輩に頼ってばかりの毎

日。ふがいなさに悔しい思いをしたこともありました。けれど、日々の生活や行事に懸命に取り組み、先輩や先生方からたくさん学び、少しずつ中学生らしくなれました。

一つ先輩になった二年生。一年生と行った大洲宿泊研修では、「先輩らしく引張らなければ！」と思いつつも、先輩に指示を出したり積極的に動いたりするのは難しく、先輩としてあるべき姿を考えさせられました。そんな私たちを大きく成長させてくれた少年の日。少年の日に込める思いを、一か一か考え、挑戦した書道、パフォーマンス。最初は上手くいく気がしなかったけれど、

何度も何度も練習を重ねた日々。当日はそれまでで一番の作品を完成させることができました。多目的ホールに飾られていた「朔」の文字。今でも見るたびに、当時の頑張りや達成感の思い出がよみがえります。先輩として、一人の人間として、大きく成長できた一年でした。最高学年になった三年生。三泊四日の修学旅行。関西の様々な場所を周り、愛媛とは違う文化や歴史の偉大さを学びました。学びも大きかったです。学びも大きかったです。学びも大きかったです。

以上、この仲間たちと一緒に寝泊まりした。最高学年としての一年。辛く苦しい日々も、九人で支え合ひ、乗り越え、日々の授業はもちろんのこと、進路や高校入試のことに行き

度にも何度も練習を重ねた日々。当日はそれまでで一番の作品を完成させることができました。多目的ホールに飾られていた「朔」の文字。今でも見るたびに、当時の頑張りや達成感の思い出がよみがえります。先輩として、一人の人間として、大きく成長できた一年でした。最高学年になった三年生。三泊四日の修学旅行。関西の様々な場所を周り、愛媛とは違う文化や歴史の偉大さを学びました。学びも大きかったです。学びも大きかったです。学びも大きかったです。

以上、この仲間たちと一緒に寝泊まりした。最高学年としての一年。辛く苦しい日々も、九人で支え合ひ、乗り越え、日々の授業はもちろんのこと、進路や高校入試のことに行き

度にも何度も練習を重ねた日々。当日はそれまでで一番の作品を完成させることができました。多目的ホールに飾られていた「朔」の文字。今でも見るたびに、当時の頑張りや達成感の思い出がよみがえります。先輩として、一人の人間として、大きく成長できた一年でした。最高学年になった三年生。三泊四日の修学旅行。関西の様々な場所を周り、愛媛とは違う文化や歴史の偉大さを学びました。学びも大きかったです。学びも大きかったです。学びも大きかったです。

以上、この仲間たちと一緒に寝泊まりした。最高学年としての一年。辛く苦しい日々も、九人で支え合ひ、乗り越え、日々の授業はもちろんのこと、進路や高校入試のことに行き

度にも何度も練習を重ねた日々。当日はそれまでで一番の作品を完成させることができました。多目的ホールに飾られていた「朔」の文字。今でも見るたびに、当時の頑張りや達成感の思い出がよみがえります。先輩として、一人の人間として、大きく成長できた一年でした。最高学年になった三年生。三泊四日の修学旅行。関西の様々な場所を周り、愛媛とは違う文化や歴史の偉大さを学びました。学びも大きかったです。学びも大きかったです。学びも大きかったです。

以上、この仲間たちと一緒に寝泊まりした。最高学年としての一年。辛く苦しい日々も、九人で支え合ひ、乗り越え、日々の授業はもちろんのこと、進路や高校入試のことに行き

さんでできました。先輩の皆。文化祭や俳句集会、体験学習、委員会活動など、様々な活動が懐かしく思い出されます。いつもそこには皆の姿がありました。皆がいたからこそ、私たちが頑張ってきた。最後まで付いてきてくれた一・二年生、本当にありがとうございました。これから大変なこともたくさんあると思いますが、協力して、中の伝統を引き継いでいってください。皆ならできるとは思いますが、協力して、中

援していただきます。先生方。いつも優しく見守り、私たちを支えてくれてありがとうございました。日々の授業はもちろんのこと、進路や高校入試のことに行き

度にも何度も練習を重ねた日々。当日はそれまでで一番の作品を完成させることができました。多目的ホールに飾られていた「朔」の文字。今でも見るたびに、当時の頑張りや達成感の思い出がよみがえります。先輩として、一人の人間として、大きく成長できた一年でした。最高学年になった三年生。三泊四日の修学旅行。関西の様々な場所を周り、愛媛とは違う文化や歴史の偉大さを学びました。学びも大きかったです。学びも大きかったです。学びも大きかったです。

以上、この仲間たちと一緒に寝泊まりした。最高学年としての一年。辛く苦しい日々も、九人で支え合ひ、乗り越え、日々の授業はもちろんのこと、進路や高校入試のことに行き

度にも何度も練習を重ねた日々。当日はそれまでで一番の作品を完成させることができました。多目的ホールに飾られていた「朔」の文字。今でも見るたびに、当時の頑張りや達成感の思い出がよみがえります。先輩として、一人の人間として、大きく成長できた一年でした。最高学年になった三年生。三泊四日の修学旅行。関西の様々な場所を周り、愛媛とは違う文化や歴史の偉大さを学びました。学びも大きかったです。学びも大きかったです。学びも大きかったです。

以上、この仲間たちと一緒に寝泊まりした。最高学年としての一年。辛く苦しい日々も、九人で支え合ひ、乗り越え、日々の授業はもちろんのこと、進路や高校入試のことに行き

詰った時も、先生方がいたからこそ乗り越えられました。行事やイベントの際には一緒に悩んで相談に乗ってくれました。先生方に褒めてもらって、笑わせてもらって、見守ってもらって今があります。ありがとうございます。

地域の方。登下校中に声を掛けてくださったり、行事に参加して下さったりして嬉しかったです。おかげで安心して過ごすごうございました。いつも温かく見守って下さりありがとうございます。

たとき、励ましてくれてありがとうございます。ライラして八つ当たりすることもあつたけど、それでも支えてくれてありがとうございます。たくさん心配をかけた。これからも心配かけると思いますが、よろしくお願いします。大好きです。
(後略)

ふるさと中島。ここで過ごした日々は特別で、私たちを大きく成長させてくれました。育ててくれ

ちはもうすぐ新しい一步を踏み出します。それでも、私たちに、とって中島は、いつでも大切なふるさとです。かけがえないこの九人の仲間。これまでのどの場面を切り取っても、皆の存在は欠かせません。大変だったことも、悲しかったことも、楽しかったことも、思いっ切り笑ったことも、この九人で過ごしてきた時間は一生忘れません。本当にありがとうございます。

そして何より、家族の皆。いつも忙しい中、家事や看病をしてくれてありがとうございます。困難にぶつか



修業式

三学期に頑張ったこと

一年 和

三学期が終わり、明日から春休みが始まります。私は、三学期に頑張ったことが二つあります。一つ目は、少年の日です。記念集会では、バンド演奏と群読に力を入れました。授業の時間だけではなく、休み時間や家での時間も使って練習に取り組みました。本番では、少年の日という節目を迎え、「大人への第一歩を踏み出す」という気持ちを含めながら取り組みることができました。そして、群読コンクールや市内巡りでは、四人で考えて、力を合わせて行

動することができました。少年の日を通して学んだことを忘れないで、今後の学校生活で生かしていきたいです。

二つ目は学年末テストです。まず、目標点をしっかり立て、計画的に学習に励むことができました。今までのテストやワークを解き直すなど、工夫してテスト勉強に励むことができました。目標点を達成できなかった教科もありましたが、テスト勉強の成果を発揮し、最後まで頑張ることができました。

四月からは、最高学年、そして、受験生になります。明日からの春休みでは、特に学習に力を入れたいです。苦手な数学を中心に、今まで

のテストで間違えた問題や練習問題をたくさん解き、ミスなく解けるようにし、受験に向けて少しずつ取り組んでいきます。また、四月の修学旅行や、五月の運動会に向けて、最上級生として、準備や練習を進めていきます。四月からも充実した学校生活にするために、春休みにつかりと準備をして、始業式を迎えたいです。

三学期を振り返って

一年 菜々

三学期も今日で終わり、明日から春休みが始まります。一年生の締めくくりでもあり、二年生の準備期間でもあった今学期は、実際の期間より短く感じました。

私が三学期に頑張ったことは、二つあります。一つ目は、学年末テストに向けての自主学習です。一学期や二学期の期末テストの反省を生かして、自分なりの勉強方法を模索しながら取り組みました。この一年間で自主学習ノートは十二冊になりました。過去の自主学習ノートを振り返ってみると、時間だけでなく、内容の質が向上しているように思えて、この一年の成長を実感することができました。

二つ目は、読書の時間を増やしたことです。勉強の息抜きや、登下校のバスの中など、何気なく使っている時間を、意識的に読書に使うようにしました。意味を知らない言葉や、読み方が分からない漢字を随時調べ、一文一文を理解しながら読み進めました。そうすることで、文章を読み取る力がつき、語彙が豊かになったように感じます。また、以前より具体的にわかりやすい文章が書けるようになりました。

二年生になって頑張りたいことは、人前に立つ機会を増やすことです。この一年間の大きな反省として、自分から意見を発表できず、委員会活動や学校行事にあまり積極的に取り組むことができませんでした。しかし、間違いを恐れて挑戦しないことは、自身の成長にも繋がら

うにしました。意味を知らない言葉や、読み方が分からない漢字を随時調べ、一文一文を理解しながら読み進めました。そうすることで、文章を読み取る力がつき、語彙が豊かになったように感じます。また、以前より具体的にわかりやすい文章が書けるようになりました。

うにしました。意味を知らない言葉や、読み方が分からない漢字を随時調べ、一文一文を理解しながら読み進めました。そうすることで、文章を読み取る力がつき、語彙が豊かになったように感じます。また、以前より具体的にわかりやすい文章が書けるようになりました。

二年生になって頑張りたいことは、人前に立つ機会を増やすことです。この一年間の大きな反省として、自分から意見を発表できず、委員会活動や学校行事にあまり積極的に取り組むことができませんでした。しかし、間違いを恐れて挑戦しないことは、自身の成長にも繋がら

うにしました。意味を知らない言葉や、読み方が分からない漢字を随時調べ、一文一文を理解しながら読み進めました。そうすることで、文章を読み取る力がつき、語彙が豊かになったように感じます。また、以前より具体的にわかりやすい文章が書けるようになりました。

ません。来年度は、今まで苦手で避けてきたことにも挑戦したいです。四月からは後輩がきます。先輩が

四月からは後輩がきます。先輩が

